

- 人口 1,076,158 人
(世帯数 391,799 世帯)
- 出生数 7,722 人
- 合計特殊出生率 1.43
(以上、平成25年10月1日現在)
- 面積 4,247.62 km²

富山県

とやまマリッジサポートセンター事業

結婚支援事業を総合的に実施。
企業の協力をいただきながら、結婚支援の取組を強化。

事業開始時期： 平成26年4月

交付金額： 1,540万円



地域の実情と課題

【事業の背景と経緯】

- 富山県民協議会が昭和42年から結婚相談所を開設。
- 平成19年から全国に先駆けて、「とやま出会いサポートセンター(女性保護富山県民協議会に委託)」を設置し、出会いサポーター(現在120名)によるマッチングを実施。

【地域の課題】

- 結婚相談所、出会いサポーターの連携不足の問題。
- 結婚を希望する若者が自信を持って結婚に向かえる支援が必要。

事業の目的

【趣旨・目的】

- 少子化の大きな要因となっている未婚化・晩婚化の進行を踏まえ、結婚を希望する若者を応援するため、結婚を希望する独身男女の情報を一元化し、一人ひとりに合った出会いの提供等を行い、マッチング数を増やして成婚数を増加させるもの。

事業内容

主な取組

▶ 結婚会員管理システムの導入

結婚を希望する独身男女の情報を一元化するシステムの構築。

▶ 個別マッチングの実施

会員に登録されたリストから、希望にかなう相手とのマッチングを図る。

▶ スキルアップセミナーの開催

<企業向けセミナー>

企業の人事担当者等を対象に、従業員に対する結婚支援のノウハウについて学ぶセミナーを開催。

<個人向けセミナー>

結婚を希望する者を対象に、異性とのコミュニケーションや身だしなみ等のスキルアップセミナーを開催。

連携と協力

- 女性保護富山県民協議会／出会いサポーター
- 公益社団法人富山県法人会連合会および県内9600社の会員企業

期待される効果

- 結婚支援事業実施団体が連携により、効率的に会員が確保され、マッチング数が増加する。
- 県が実施主体の安心感等から結婚を希望する男女の会員が増加する。

事業の継続性と展望

- 今後より多くの方に会員登録してもらうため、センター以外でも登録ができるよう、特設会場に職員が出向く「出張登録会」の開催を実施するなど、希望者の利便性をより高めていく。